

市議会だより

9月定例会 一般質問

●11人の議員が市政について質問しました。
●主な内容については次のとおりです。

大竹 忍 議員

軽度発達障害児・者の能力開発 及び活用と就業支援について

問 軽度発達障害の理解のために、保護者に対してアンケート調査を実施しませんか。

答 内容や方法について、今後検討して実施していきます。

問 授業後の時間や、土日を利用して、発達障害児の個性を大切にしながら、スキル向上の支援を実施しませんか。

答 支援の時間帯や曜日については、特別支援コーディネーター担当者会議などで検討し、先進市の事例に学んで実施していきたいと考えます。

白ばら学園

問 「白ばら学園」では、幼児期からの療育を実施しています。就業技術を学ぶ「市立養護学校」を設立し、就業支援までのサポートを考えませんか。また、県立養護学校に就業技術科を開校するよう、県へ働きかけませんか。

答 西尾市独自の養護学校の設立は、考えていませんが、将来、高等養護学校までの一貫教育が実現できるよう考えていきたいと思えます。

問 現在、平成22年度の開園をめざし、保育と知的障害児教育施設を合わせた仮称「室場こども園」の整備を計画しています。まずこの複合施設の充実を図っていきます。また、就業技術が必要な生徒に対して、さらに支援をしていただけるよう県に働きかけていきます。

問 市が、知的・軽度発達障害者を積極的に雇用することで、一般企業の障

害者雇用に大きく影響を与えることになると思います。市の障害者雇用の拡大を図りませんか。

答 平成20年4月から、一般事務職として1人雇用していきます。

視覚障害・難聴の早期発見と 適切な治療及び支援について

問 小児弱視の早期発見のために、3歳児健診での視力検査に、視能訓練士の配置と高精度屈折異常測定器を導入しませんか。

答 現在のところ、考えていません。

問 難聴児・者の生活習慣病予防のために、耳鼻科医師とタイアップして、生活支援を実施しませんか。

答 保健指導や予防についての出前講座を実施しています。今後も、機会あることに支援していきます。

問 3月3日は耳の日です。この日を利用して、難聴児・者を多くの人に理解してもらう機会となるための講演会など開催しませんか。

答 毎年「にしお福祉まつり」を開催していますので、新たに講演会を開催することは考えていません。

工藤 光雄 議員

行財政改革について

問 市長就任後2年間の感想と、今後に対する思いはどのようなですか。

答 議員各位のご理解及び職員と一丸となって頑張った結果、公約で完了及び進行中のものを含めた44項目と公約以外に28項目を実現させ、72事業に取り組むことができました。今後の思いとしては、市民病院の抜本的な改革に努めていきます。病院改革準備会を立ち上げ、改革を尚一層進めていきます。

問 5S運動等の視察状況と、他市の評価及び自己評価はどのようなですか。

答 平成16年度から、活動の定着化や職員意識の高揚をテーマとした9団体の視察がありました。定期的な5Sミーティングの開催や、1千件を超える改善や「見える化」の推進等の取り組みに、高い賞賛の評価をいただきました。自己評価も改善件数や意識改革など一定の成果があったと自負しています。



2週間に1度、各職場で行われる5Sミーティング

災害対策の整備充実について

問 ブロック塀の無料耐震診断や耐震改修費補助の考え方はどのようなのですか。
答 ブロック塀等の倒壊から市民を守る方策としては有効であるため、補助金制度を含めて検討します。

消防力及び救急業務の強化について

問 現状の人員充足率と今後の対応策についてどのように考えていますか。
答 基準人員215人に対し、現有人員は109人の51%です。今年度1人増員しました。今後も市民の安全安心を確保するため増員に努めます。

問 救急車両出勤1回当たりの経費と救急車を使わなくても良かったと思われる件数はどのようですか。
答 平成18年では、1回の出勤経費は4万438円です。また、3千210

交通安全対策の整備充実について

件の出勤のうち、不適切利用と推測される件数は338件で10・5%です。今後も救急車の適正利用について、啓蒙活動を継続していきます。

問 自転車歩行者道と、自転車専用道の整備を推進すべきではないですか。
答 自動車交通量の多い幹線道路では、道路の拡幅整備に合わせて自転車歩行者道の整備を進めていきます。

鈴木 規子 議員

市民病院VRE院内感染、対応は充分か

問 2月下旬に発生した抗生物質の効かないバンコマイシン耐性腸球菌の院内感染が新聞報道で発覚しましたが、その措置に問題はなかったのですか。伝播防止のため、医療スタッフを含め、全員検査を行うべきではないのですか。
答 市民の皆さんに、ご迷惑ご心配をかけたことをお詫びします。現在、院内感染に関する標準予防策、手洗いの励行を強化し、防止に努めています。全員検査をする考えはありません。

問 公表が遅れたのはなぜですか。風評被害、市民の動揺を防ぐため、正確な情報を公開すべきではありませんか。
答 発症者がいなかったため、MRSAなどの場合も、院内感染は公表されていないのを参考にしました。事前に公表していれば新聞報道の論調も違ったと思う点は反省しています。

問 今後の院内感染対策はどう改善するのですか。近隣病院への伝播対策は充分ですか。
答 県からアドバイスを受け、第三者を入れて対応の検討をする予定です。他への伝播防止のため、また、地域として院内感染防止対策をどうするかの情報共有していこうと思っています。

消防はしご車入札でのトラブル

問 消防はしご車の入札では、落札社の契約締結不履行と市の対応のまずさで、5千200万円もの損害を生じさせました。入札に際する市側の不備を改善すべきではありませんか。
答 必要に応じて契約締結不履行の場合に入札保証金相当額をとるようにしますが、条例どおりに、すべての入札に入札保証金をとるとなると、銀行で業者同士が顔を合わせる機会が増えてしまうと思います。

問 条例・規則どおりにしなかったた

学校図書館に司書の配置を

めの損害です。改善しないまま、またこんなことが起きてもいいのですか。
答 あってはまずいと思います。

問 子どもたちの読書推進と授業の支援となる学校図書館の充実のため、司書を増やしませんか。また、市立図書館からの学校支援を強化しませんか。
答 学校図書館司書を6人に増やし、司書教諭はじめ学校全体での取り組みを進めます。学校図書館支援センター設置をめざして調査研究します。

長谷川 敏廣 議員

被災後対策について

問 マグニチュード8以上の恐るべき巨大地震が発生したときに、飲料水や

洗面、風呂などに使う水の対策はどのようなですか。

☞ 飲料水は、市民1人当たり約37リットルが確保してあります。また、洗面や風呂など生活用水の確保については、小中学校に防災用井戸を設置したり、プールなどの貯水施設を活用したりする予定です。

☞ 避難所生活を余儀なくされた方々の、エコノミー症候群対策はどのようなですか。

☞ 避難所などの運営課題と位置付け、介護などを目的としたボランティアの方々の協力を受け、避難生活のケアに努めます。

☞ 安心して睡眠のできる生活を確保するための、仮設住宅の対応はどのようなですか。

☞ 市としては、被害状況に対応して、早急に応急仮設住宅が建設できるような体制を整えていきます。

☞ 西尾市、恵那市及び越前町と結んだ、災害時相互応援協定締結後の具体的な活動はどのようなですか。

☞ 平成19年3月26日の能登半島地震では、福井県越前町でも震度4を記録しましたので、直ちに越前町に連絡を取っています。

幸いにも地震の被害はなく、西尾市から応援の必要はないとの返事をいただきました。

年金記録問題について

☞ 西尾市の国民年金保険料納付者及び納付率は、市で取り扱っていたときと比べてどのようなですか。

☞ 西尾市の国民年金第1号被保険者は、1万5千229人で、納付率は74・4%となっています。市で担当した平成13年度と比較して納付率は4・8%の減となっています。

☞ 年金記録をめぐるさまざまな問題について、今後、年金の信頼回復を市はどのように対処されますか。

☞ 国民年金制度を理解していただくことが重要と考えています。今後、社会保険事務所と連携をとりながら、広報活動に努めていきます。

市民サービスについて

☞ ハッピーマンデー制度の適用による月曜祝日がふえている今日、図書館の月曜祝日閉館を開館にしていきたいと思いませんか。

☞ 近隣市町でも、開館している図書館が多くあります。利用者からも月曜日閉館の要望がありますので、月曜祝日閉館に向けて検討しています。

広中 利臣 議員

市民との共働について

☞ 市民の日と市民活動促進条例を制定し、まちづくりに参加した人等に市民バッジ等を授与しませんか。また、学校に市民科を設置しませんか。

☞ 市民活動促進条例の制定は、市民との協働に向けて模索してまいります。その他については考えていません。

☞ 2008年の国際言語年に向けて、言語的多様性を考えるシンポジウムを開催しませんか。国際母語デーを中心に多文化共生を考えるイベント及び思いやりや感謝の言葉のメッセージ展を開催する考えはありませんか。また学校に日本語科と日本語教育センターを設置し、音声トレーニング法等の研究を進めませんか。

☞ 日本語教育センターと音声トレーニング法は研究します。その他は予定がありません。

☞ 口承による伝統及び表現等の有形・無形文化財を継承するように、西尾遺産として残しませんか。

☞ 調査し記録に残すとともに、保存・伝承してまいります。

学校問題解決のため条例制定や支援チームを結成する考えは

☞ 学校安全条例を制定し、学校問題支援チームを結成しませんか。また、問題解決の研修会を開いて、マニュアルを作成し、紛争解決の相談窓口を設置しませんか。

☞ 学校安全条例を制定する計画はありませんが、支援組織とすでにあるマニュアルの活用を検討します。相談窓口については、担当部署が責任を持つて専門機関につないでいきます。

☞ 睡眠時無呼吸症候群(SAS)のシート診断器を導入し、対策の講習会を開催しませんか。また、睡眠障害の研究を進め、安眠と快眠のできる相談会を開催しませんか。

☞ 現在の診断機器の更新時に検討します。講習会は考えていませんが、相談会は要望を聞きながら考えます。

☞ 環境配慮の漁業を認証するエコラベルを、広報にしお等で周知しませんか。おさかなマイスター認定制度と連携をとって、魚食教育を進めませんか。

☞ 「魚の日」を記念して、魚食文化を守るイベントを開催し、漁業歴史資料館を設置しませんか。また、生物多様性保全のための行動計画を策定し、子ども環境管理士を育成しませんか。さらに、市民節電所運動を展開しませんか。

☞ 魚食教育は、食育の中で進めていきたいと考えます。節電所運動は検討しますが、その他は考えていません。

杉崎 慎一郎 議員

教員が子どもと触れ合う時間を
どのように確保するか

問 教育委員会は、教員が子どもと触れ合う時間を確保するために、どのような取り組みをしていますか。

答 出張を伴う会議を最小限にするように指導したり、提出文書はできるだけ電子化し、集計や修正に時間のかからないようにしたりしています。

問 学校の事務を減量化するために、どのような工夫をしていますか。また、事務補助者を学校に配置し、教員が子どもと向き合う時間を確保しませんか。

答 人的配置として、全小中学校に教育補助者を配置し、プリントの印刷や環境整備などをしてもらっています。いわゆる雑務に費やす時間の軽減を図り、教員が子どもと触れ合う時間を増やすようにしています。

今後は、さらなる人的支援や事務の効率化を検討していくと同時に、保護者や地域に任せられることは極力お願いして、事務量を減らしていきたいと考えています。現在、小中学校に1人の教育補助者が配置されていますが、コンピュータに堪能な事務補助者の配置を前向きに検討していきます。

部活動の重要性を
どのように認識しているか

問 部活動は、勉強と両輪を成すはずですから、たかが部活という考えはぜひ考え直すべきではありませんか。

答 部活動は、教育効果が大きいという認識は、市内の全小中学校のどの管理職も持っています。教育委員会は、児童・生徒が勉強と部活動を両立させることができるように、今後も支援していきます。

問 部活動を担当している教員をサポートする体制づくりに、取り組むべきではありませんか。

答 顧問が熱意を持っていても、思うように部活動の指導ができないのが現状です。勤務時間外の開催が可能な会議は、参加教員の納得のもとに部活動の終了後に開催したり、事務の仕事も同様に時間外に行ったりしています。指導者不足については、ベテランの先生から指導方法や審判法を学ぶ機会を設けるなど、サポート体制づくりに取り組んでいます。

中村 眞一 議員

少子化対策について

問 小学校1年生までの医療費無料化について、学年枠を拡大しませんか。

答 県の補助及び市の財政状況を見ながら、翌年度から拡大に向け前向きに検討します。

平坂下水道と西尾西部地区の
公共下水道計画について

問 平坂下水道は、宅地化が進んでくると、流入量の増加により浸水が懸念されます。浸水対策は待ったなしであり、羽塚町から平坂町の一部にかけて当面の処置はどうしますか。

答 当面は下流部の整備や、浚渫を行います。また、吉山区画整理地区内の雨水を調整池等で処理することで、平坂下水道への流入時間をずらすことができ、水路への負担が減り浸水対策となるものと思います。



来年度、子どもの医療費無料化の拡大が図られる

問 下水道事業の認可区域の事業完了は平成22年度ですが、平坂の一部、羽塚、国森、新在家、住崎町内の事業認可計画はどのように考えていますか。

答 平成27年度までに整備します。

問 平坂富田線の早期完成が見込まれない現状において、認可区域外の平坂の一部、羽塚、国森、新在家、住崎町内の区域の見直しをしませんか。

答 富山汚水幹線のルートを、平坂富田線から現道へ変更しました。この変更により、この地区は平坂富田線の進捗に左右されず整備ができます。

道路整備について

問 かつて計画し、中断していた市道善明12号線から国道23号線までの道路を、市費単独予算で建設しませんか。

答 西尾市東部の輸送経路を確立するため事業採択され、平原地区の地籍混乱などにより、平成14年度に事業計画を廃止しました。多額の道路事業費が想定されるので、市費単独でなく国・県の補助対象事業として進めるよう研究します。

問 以前の計画が困難であれば、ルートを変更しませんか。

答 県道蒲郡南線から23号線へのアクセスや、新ルートなど方法はありますが、将来のため再度研究します。

牧野 次郎 議員

遅れている子育て支援の充実に

問 無料妊婦健診の回数を拡大しませんか。

答 厚労省の通知では、14回程度の公費負担が望ましいと示されており、公費負担の無料健診は20年度から拡充を検討します。県外健診での償還払いを実施してないのは、西三河八市で岡崎と西尾だけなので歩調を合わせます。

生活を困窮させる差し押さえは停止を

問 母子家庭で、生計を困窮させるような預金の差し押さえ処分の事例を聞きました。生活弱者への強制的な処分執行は、控えるべきではありませんか。

答 差し押さえは、法に基づいて執行しています。滞納者の事業の継続や生活の維持を困難にするような差し押さえは、抑制しなければならぬことが地方税法に規定されており、生存権を侵害するような差し押さえは、控えるべきであると認識しています。

問 市長公約の、子どもの医療費無料制度の拡充を進めませんか。

答 平成20年度より拡大に向けて検討しています。

▼子どもの医療費無料化制度の状況

	入院	通院	実施時期
豊田	中学卒まで	中学卒まで	H 20年 4月
岡崎	中学卒まで	中学卒まで	H 20年 4月
安城	中学卒まで	中学卒まで	H 20年 4月
刈谷	中学卒まで	中学卒まで	H 20年 4月
知立	中学卒まで	中学卒まで	H 20年 4月
碧南	中学卒まで	小学卒まで	H 19年 4月
高浜	中学卒まで 本人 1/3 負担	中学卒まで 本人 1/3 負担	H 18年 10月
西尾	小学 1年まで	小学 1年まで	H 18年 4月

市民参加でバス空白地対策を

問 巡回バスの路線見直しと、交通空白地域への対応を協議する地域交通会議が立ち上がります。どのように進められますか。

答 地域公共交通会議の設立は、11月ごろをめどに準備を進め、とりあえず20年度から実施可能な部分については実施します。最終的な答申は、市全体の公共交通のあり方も踏まえたいので、それより少し時間をかけていきます。

問 公共交通空白地域の住民の意向調査、それを反映させる手立てはどのようになされますか。

答 空白地の対策についての要望は、すでに聞いています。会議の委員は市民公募をしますが、審議の中で必要となればアンケートを行い、会議もホ

ームページで公開します。パブリックコメントも実施します。

安藤 好実 議員

岩瀬文庫は来年度百周年に

問 岩瀬文庫は、来年度に100周年を迎えます。県内外に情報発信して、西尾市の活性化に結び付けていくべきですが、どのように考えていますか。

答 仮称「愛知・東海文庫サミット」や記念講演会、本まつりを拡大したイベントを計画します。「本のまちにしお」を全国に向けて発信していくことは、西尾市の活性化の施策の一つになるものと考えています。

問 仮称「愛知・東海文庫サミット」や記念講演会は、来年度のいつごろ開催されますか。

答 仮称「愛知・東海文庫サミット」及び本まつりのイベントは、10月4日、5日に開催予定です。また、100周年記念式典及び記念講演会は、岩瀬文庫が開館した明治41年5月6日にあわせて、平成20年5月6日に開催する予定です。

問 古い町並みが徐々に取り壊されつつあります。一部の地域を保存していくために、取り壊される前に保護条例

を制定していくべきではありませんか。

答 六万石城下町西尾市には、古い町並みが多く点在しています。平成20年度から、景観基本計画の策定を予定していて、その中で住民合意ができる地区を検討していきたいと考えます。

問 条例の考え方はどうですか。

答 景観基本計画策定には、地域や関係機関など多くの意見を集約していくこととなります。条例は、権利者の合意、法手続きが必要であり、基本計画の中で方向性を検討します。

矢作古川沿いの公園を散策路で結ばないか

問 矢作古川沿いの公園は、それぞれが離れた場所にあります。これらの公園を散策道で結び、活用を図るべきですがいかがですか。一色排水路を暗渠化し、西尾市全体で散策道など歩道の整備を図りませんか。

答 古川公園から小焼野橋までの散策路が計画されています。早い整備を愛知県に要望します。一色排水路の上部利用は、矢作川南部土地改良区や愛知県と、協議・検討しているところです。

問 宅野島では、延長約1000mの歩道が、上流も下流も行き止まりになっています。歩道と歩道をつなぐ活用できません。内側が無理なら外堤防の法面を利用すれば、歩道として通行できるの

ではないですか。

答 鎌谷から下流は、西尾市が歩道等を整備しました。鎌谷から上流は愛知県との管理で、連続性については今後、調査・研究します。

牧野 勝子 議員

参議院選挙の結果について
その要因をどう考えるか

問 参議院選挙で示された国民の意思の一つに、庶民増税、大企業・大資本家減税はたまらないとの思いがあったと思います。いかがですか。

答 参議院選挙の結果が、庶民増税によるものであるかどうかは、違つて思っています。

問 資本金10億円以上の企業に、14・7%の市民税をかけると、増収はいくらになりますか。

答 3億9千300万円です。

問 今まで（合併前）は、全国85%の自治体が、適正課税をしてきました。西三河8市の自治体が協力して、大きな企業への働きかけをしませんか。

答 西三河8市で働きかけをしていく場合、西尾市に特別な事情もないので、その考えはありません。

ペットボトル回収で1市3町の
指導が異なる理由は

問 ペットボトルの回収について、西尾市はラベルを外すよう指導していませんが、幡豆郡3町では指導しています。取り扱いに差があるのはなぜでしょうか。

答 ペットボトルのラベルについては、各市町独自の判断ですが、リサイクル協会の基準でも、ラベルはついたままでは支障はないと判断しています。引き取り価格については、リサイクル協会を通す場合、価格に大きな影響はないと考えています。

問 ペットボトルの回収を、量販店のみに任せておかず、市としての分別収集に加えるべきではありませんか。

答 将来的には、ペットボトルのステーション回収を考えています。

植木の剪定枝は
燃やさずに堆肥化を

問 西尾市は植木のまちで、多くの剪定枝が出ます。剪定枝を燃やしてしまうと、燃やさずに堆肥化することでは、環境への影響をどのように考えますか。

答 剪定枝を堆肥化することは、ごみの減量や二酸化炭素の排出抑制につながり、環境への負荷軽減につながります。

筒井 登 議員

新たな勤務評定制度の
導入について

がり、環境への負荷軽減につながります。

問 市職員の勤務評定制度導入と昇格昇任の関連はいかがですか。

答 勤務評定制度結果を参考資料として、昇格、昇任を明確化していくものです。

問 情実人事を行った場合、せっかくの評定制度も絵に描いた餅と化してしまいます。これはあってはならないことと考えますが、いかがですか。

答 昇格人事については、あくまで公正な見地から行うものです。これを個人的な感情等による恣意的な判断で行うということは、勤務評定制度の根拠を覆すものであるという考え方から、情実人事ということは全くありません。

問 評価する側もされる側も、厳しい作業が予測されますが、いかがですか。

答 評価シートの記入方法、育成面談の手法に改良を加え、評定者、被評定者ともに負担がかからないよう、内容に配慮してあります。



新勤務評定制度のイメージキャラクター「きんびょうくん」

問 評価項目、評価基準の透明性は確保されていますか。

答 主査職以上を対象に説明会を開催し、また、関係資料を庁内ネットワークに投稿し、周知を図っています。

問 評定者の資質については、何の問題もありませんか。

答 評定者の資質は、重要な要素であると認識しています。今後とも、評定者の資質向上に努めていきますが、資質に欠ける状況が見られれば、上司、人事担当が速やかに対応します。

問 成績率の決定によって、勤勉手当はどのようになるのですか。

答 職員の勤勉手当の総額から、成績下位の者の減額の範囲内で、成績上位の者に配分することになります。

問 よその自治体では、成績下位の者に対して、やめてもらったという事例がありますが、本市はいかがですか。

答 勤務評定の結果に基づいて免職を行うということは、現行の公務員制度では難しいと考えています。



9月定例会で可決された議案



※人権擁護委員に、石川妙子氏を推薦することに異議のない旨答申しました。
※西尾市教育委員会委員に、天野卓氏を任命することに同意しました。

★政治倫理の確立のための西尾市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定について	郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成17年法律第102号）が公布されたこと等により語句を整理し、引用法律名を変更するため改正するものです。
★西尾市情報公開条例及び西尾市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成17年法律第102号）が公布されたことにより、関係する条例中の「日本郵政公社」を削るため改正するものです。
★西尾市議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議会の議員の報酬月額を変更するため、改正するものです。
★西尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	特別職の職員で非常勤のものの報酬の額を変更するため、改正するものです。
★西尾市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	特別職の職員で常勤のものの給料月額を変更するため、改正するものです。
★西尾市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育長の給料月額を変更するため、改正するものです。
★西尾市水防団及び警防団に関する条例の一部を改正する条例の制定について	水防団員及び警防団員の職務報酬年額と費用弁償日額を変更するため、改正するものです。
★西尾市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	雇用保険法等の一部を改正する法律（平成19年法律第30号）が公布されたことに伴い、失業者の退職手当について、原則として勤続期間が12月以上あることを受給資格要件とすることなどについて、改正するものです。
★西尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	建築物の安全性の確保を図るための建築基準法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令（平成19年政令第49条）が公布、施行されたことに伴い、条例中の引用条項を変更するため、改正するものです。
★都市計画法に基づく市街化調整区域に係る開発行為の許可の基準を定める条例を廃止する条例の制定について	都市の秩序ある整備を図るための都市計画法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令（平成18年政令第350号）が公布されたことに伴い、条例を廃止するものです。
★市道路線の認定について	開発行為により建設された道路を市道として認定し、管理するためのものです。

★財産の取得について	はしご付消防自動車（35 m）を更新整備するものです。
★平成19年度9月補正予算	一般会計、国民健康保険特別会計、公共下水道事業特別会計、老人保健特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、病院事業会計の補正予算を可決しました。
★平成18年度歳入歳出決算	一般会計、国民健康保険特別会計、公共下水道事業特別会計、老人保健特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、病院事業会計の決算認定を可決しました。

9月定例会に出された陳情書

★学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める陳情書	西尾市教職員組合執行委員長 黒柳 賢司 他 434人	採 択
★国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	幡豆郡吉良町大字上横須賀 森 博子	趣旨採 択
★愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	幡豆郡吉良町大字上横須賀 森 博子	趣旨採 択
★市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書	幡豆郡吉良町大字上横須賀 森 博子	趣旨採 択
★悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情書	愛知県弁護士会会長 村上 文男	採 択

意見書

次の意見書を、国会及び関係行政庁に提出しました。

★学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣
★割賦販売法の抜本的改正に関する意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣
★道路整備の促進と財源確保に関する意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

議会だより編集委員会

◎新家喜志男 ○安藤 好実
長谷川敏廣 稲垣 正明
松崎 嘉信 鈴木 規子
広中 利臣 牧野 勝子

西尾市議会だより編集委員会
電 話 5612111
F A X 5410311

編集室

▼地球温暖化の影響で、猛暑が続いた今夏でした。それでも10月に入ると、涼やかな虫の音、コスモス畑の美しさに季節の移ろいに心とむすんでいくように、日本人の四季折々を感じる情緒を大切にしていきたいものです。

▼新庁舎建設は順調に進んでいて、その概容が見えてきています。来年度には立派な庁舎が完成します。

一方では、5S運動や新しい勤務評定制度が導入されるなど、市職員の意識改革や行財政改革が着実に進められているところでは、新しい庁舎で市民のための施策が確実に実施されるよう、市民の皆様とともにしっかりと見守っていききたいものです。

■ホームページ (<http://www.city.nishio.aichi.jp/>) で、本会議、委員会の会議録（質問者、回答者のすべての内容）が閲覧できます。